

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	日本伝統武術論		
英文授業科目名	Traditional Military Arts in Japan		
開講年度	2005年度	開講年次	3、4年次
開講学期	5、7学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-上級科目-テーマ別セミナー		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	柳澤 久		
居室	東1-407		

公開E-Mail	授業関連Webページ
yanagi@e-one.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
<p>a) : 主題日本には古くから自分の身を守る術としての、格闘技や・護身術が考案され実施されてきている。現在ではそれらを古武道、武術、武道などの名称で呼ばれている。これらの日本伝統の武術について、その発生起源や歴史、技術的な特徴、身体に対する有効性などについて調査する。(b) : 達成目標武士の心身の鍛練方法であった、いくつもの武術を実際に体験することにより、護身術の原理を習得する。さらに、現在の日常生活に必要と思われ、さらに自己にあった心身の鍛練方法や護身の方法を各自で考案する。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
生涯スポーツ演習A(柔道)生涯スポーツ演習B(柔道・護身術)

【教科書等】
参考書：渡辺一郎編「武道の名著」参考書：宮本武蔵「五輪の書」参考書：新渡戸稲造「武士道」

電気通信大学 平成17年度シラバス

【授業内容とその進め方】

1-3回 日本の武術（格闘技）の起源とその発達について 4-6回 現在日本で行われている武術・武道について 7-9回 護身術の種類と方法。人体の急所と活法（蘇生法） 10-12回 心身鍛練の段階と勝負に対する心構え 13-15回 まとめ 現代社会に必要な護身術の考案。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)：評価方法レポート提出。テストの実施。出席の確認。(b)：評価基準出席50%，レポート・テスト50%

【オフィスアワー：授業相談】

体育事務室（東1-402）に連絡のこと。

【学生へのメッセージ】

時間厳守。遅刻、欠席をする可能性のある学生は最初から履修申告を提出しないでください。教室だけでなく柔道場を使用することもある。心身をしっかり整えて授業に臨んでもらいたい。

【その他】